

平成24年度 古市小学校 第2学年「算数科」シラバス

【学習の目標】

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにします。数の意味や表し方について理解を深めるとともに、加法及び減法についての理解を深め、用いることができるようにします。また、乗法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにします。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、長さや体積などの単位と測定について理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにします。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、三角形や四角形などの図形について理解できるようにし、図形についての感覚を豊かにします。
- (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにします。

【学習する主な内容】

	単元名	主な学習内容
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 9 月 10 ・ 11 ・ 12 ・ 1 ・ 2 ・ 3 月	1, ひょうとグラフ ☆おぼえているかな 2, 時こくと時間 3, たし算のひっ算 ☆おぼえているかな 4, ひき算のひっ算 ★どんな計算になるのかな 5, 長さのたんい ☆おぼえているかな 6, 3けたの数 7, 水のかさのたんい 8, 計算のくふう ☆ おぼえているかな 9, たし算とひき算のひっ算 10, 三角形と四角形 11, 分数 12, かけ算(1) ★九九ビンゴ 13, かけ算(2) ☆おぼえているかな 14, 4けたの数 15, 長いものの長さのたんい ☆おぼえているかな 16, たし算とひき算 17, はこの形 ★ 計算ピラミッド ★ 2年のふくしゅう	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な表やグラフの読み方やかき方を理解する。 ・既習内容の理解の確認と計算技能を維持する。 ・時間と時刻の概念と区別、(時・分)の単位関係、午前と午後の意味を理解する。 ・(2位数+1~2位数)の筆算での計算方法や、加法の交換法則と検算の方法を理解する。 ・既習内容の理解の確認と計算技能を維持する。 ・(2位数-1~2位数)の筆算での計算方法や、加法と減法の相互関係について理解し検算の方法に用いる。 ・2位数の加減についての演算決定をする。 ・直線の概念と長さを測る単位の必要性や有用性を知り、ものさしの使い方や長さの単位(cm)(mm)について知る。また、長さの加減計算をする。 ・既習内容の理解の確認と計算技能を維持する。 ・1000までの数の読み方、書き方や数の構成、系列、順序、大小などを理解する。簡単な加減計算と大小、相等を表す記号の使い方を理解する。 ・かさを測る単位の必要性や有用性を知り、かさの単位(dL)(L)(mL)について知る。また、かさの加減計算をする。 ・加法の結合法則、()の使い方と簡単な加減の暗算の仕方を理解する。 ・既習内容の理解の確認と計算技能を維持する。 ・和が3位数になる(2位数+1~2位数)の加法計算、差が2位数になる(3位数-1~2位数)の減法計算の仕方を理解する。 ・三角形、四角形の概念と用語や、長方形、正方形、直角三角形の概念と性質とかき方(方眼紙利用)を理解する。 ・具体物を用いて1/2や1/4などの大きさを作ったり、分数の用語を知る。 ・乗法の意味や倍概念の基礎とかけ算に関わる用語、記号を理解する。2, 5, 3, 4の段の九九を構成し、覚える。 ・活動を通して九九を習熟させる。 ・九九表の仕組みを理解し、特徴から乗数、積の関係を見つけたり、乗法の分配法則、交換法則を理解したりする。 6, 7, 8, 9, 1の段の九九を構成し、覚える。 ・既習内容の理解の確認と計算技能を維持する。 ・10000までの数の読み方、書き方や数の構成、系列、順序、大小などを理解する。 ・長さの単位(m)について知り、長さの加減計算をする。 ・既習内容の理解の確認と計算技能を維持する。 ・減法逆の加法、加法逆の減法の問題解決や加法と減法の相互関係を理解する。 ・箱の形をもとにした立体と平面の関係や立体図形(立方体、直方体)の構成要素(頂点、辺、面)の特徴を理解する。 ・1~2位数の加減計算の習熟と伴って変わる2つの数量の関係に関する初歩的な考察をする。 ・2学年の学習内容の総復習をする。

【保護者の方へ】

学習内容が子どもたちにより定着するよう、帯時間などで計算ドリル・計算カードやプリント等を利用しくり返し学習を行っています。宿題等の家庭学習では、ものさしの使い方や時計の読み方など生活の場面でも取り入れてみてください。お子様が意欲的に取り組めるよう、励ましてあげてください。ご協力をよろしく申し上げます。